

# 草津市の「住みやすさ」に関する調査研究報告書

－草津市民へのアンケート調査を踏まえて－

2016(平成 28)年 3 月

草津市 草津未来研究所



## 要旨

この報告書は草津市の「住みやすさ」について調査研究を行ったものである。

日本は 2008(平成 20)年より人口減少が始まっており、今後は加速度的に進むと予測されている。人口減少は社会経済に大きな影響を与えることから、人口減少に歯止めをかけ、一定の人口規模を維持することが喫緊の課題とされている。また、少子高齢化が急激に進行しており、それに合わせた社会インフラの整備や仕組みづくり等が求められている。

草津市の総人口は、市制施行以来一貫して増加してきたが、近年、その伸びは鈍化しており、今後の人口減少や少子高齢化を免れることはできないと予測されている。また、地域別に見れば、人口減少局面にある地域も既に現れていることから、地域ごとに異なる実情を把握することが課題である。

こうした中、魅力ある都市を形成し、新規居住者の増加や若者の定住をはかっていくためには、市民にとっての「住みやすさ」を理解し、より向上させていく都市政策が必要となる。

近年、「住みやすさ」や「幸福度」等、暮らしに対する満足感への関心が高まり、それらに関する調査や都市ランキング等が数多く行われており、居住する自治体を選択する際の一定の評価基準となることもある。しかし、都市の「住みやすさ」にかかる評価は、客観的な数値による経済的な利便性を中心とした統計指標により行われているものが多く、住民の目線で「住みやすさ」を的確に捉えることができているのかという課題がある。

本調査研究は、草津市民を対象に「住みやすさ」アンケート調査を実施し、本市における各地域の特徴を踏まえ、地域や世代ごとに重要視される「住みやすさ」の要因について調査した。

その結果、「住みやすさ」に対する意識は、地域ごとや性別等、個人の背景や価値観によって差があり、特に身近な生活圏との関係が大きいことが判明した。

また「住みやすさ」向上に影響する要因は「安全・安心」「つながり」「ゆとり」が重要であることも明らかになった。それらの要因を構成する要素は、交通や買物の利便性、子育て関係や高齢者の施設、医療施設、教育の充実等であることがわかったが、個々の要素に対する関心の高さは地域によって異なっていた。特に、新市街地地域と郊外地域では特徴的な差異が見られた。



## 目次

はじめに.....	1
第1章 都市の「住みやすさ」に関する各種調査等の状況.....	2
1 先行研究・調査等の整理.....	2
(1) 都市データパック 住みよさランキング.....	2
(2) シティプロモーションにおける住環境資源指標の考察.....	3
(3) ソーシャル・キャピタルと住み良さに関する居住者の意識との関係.....	5
(4) 「地域の豊かさ指標」に関する調査研究.....	6
(5) 静岡県下21都市の住みやすさに関する統計的分析.....	7
(6) スマイティ(不動産情報サイト).....	8
2 先行研究・調査等のまとめ.....	9
第2章 市民アンケート調査.....	13
1 アンケート調査の概要.....	13
(1) 目的.....	13
(2) 郵送調査.....	13
(3) 窓口調査.....	13
(4) 質問項目設計の考え方.....	14
2 アンケート調査結果.....	15
(1) 調査回答者の基本項目.....	15
(2) 回答者の背景別分析.....	15
(3) 自由記述に関する分析.....	24
3 調査結果のまとめ.....	25
第3章 草津市の「住みやすさ」の要因.....	28
1 現状の草津市の「住みやすさ」の要因.....	28
2 草津市民の「住みやすさ」向上に関わる要因・要素.....	28

おわりに.....	31
関係者一覧.....	32
参考文献.....	33
参考資料.....	34

## はじめに

近年、人口減少対策が自治体の喫緊の課題となっており、自治体は地方創生に取り組む必要に迫られているが、そのためには、昼夜間を問わず人々が集まり住み続ける魅力を市が自ら創出しなければならない。現在、都市の「住みやすさ」を計量的に評価しようとさまざまな調査やランキングが存在し、それらは都市を客観的に評価する一つのツールとして、注目を集めている。

しかし、既存の都市ランキングにおいては、使用されている指標が全て統計指標であること、いくつかの領域において設定した数種類の指標の偏差値により判定すること等から、住民の意識を本当に反映できているのか疑問を呈するとの評価もある。

本調査研究は、多様な市民の背景を考慮した「住みやすさ」の要因、また、現在居住している人の「住みやすさ」の向上に関わる要因と要素を見出すことを目的とする。

このため、実際に本市に居住している市民が感じる草津市についての意識や期待をデータとして収集することが不可欠である。本調査研究では、具体的な手法として、草津市に住民登録がある市民に対しアンケート調査を行い、定量的調査分析を行った。アンケート票の設問内容は、研究会での議論を踏まえ、市民の主観的意識の把握に留意するとともに、積極的意見だけでなく消極的意見も収集できるよう考慮した。

この調査研究報告書の構成は、第1章で、都市の「住みやすさ」を測ることを目的とした先行研究等の使用する指標等について整理し、第2章で、市民アンケート調査の概要と分析結果についてまとめた。続く第3章で、居住地域や性別、年齢層等の背景を考慮した上で、草津市の「住みやすさ」に重要となる要因と要素をまとめた。